

JISA ソフトウェアイノベーションシンポジウム 2022
～ウェルビーイングな社会実現のための新たな価値創造～
開催報告

令和4年12月16日（金）、技術委員会（委員長：佐々木裕 株式会社NTTデータ 常務執行役員）主催のシンポジウムが、会員企業エンジニアを中心に約170名の申し込みがありオンラインにて開催された。

基調講演では、東京大学大学院情報学環教授 越塚登氏より「データ駆動型社会におけるソフトウェアイノベーション」、また、株式会社スクウェア・エニックス AI部ジェネラルマネージャー 三宅陽一郎氏より「スマートシティ、メタバース、デジタルゲームAI」の講演があった。

招待講演では、株式会社東京証券取引所 谷岡和臣氏、富士通株式会社 桑原章紘氏より PM Award2022 優秀賞/JISA DX 賞を受賞した「リーンスタートアップアジャイル手法を用いた機関投資家向けETF取引プラットフォーム」の講演があった。

経験報告セッションでは、本年度は社会にインパクトを与える問題発見や顧客価値創出、ウェルビーイングな働き方や開発環境等の観点で実践、検討している事例を積極的に募集し、8件の発表があった。株式会社NTTデータ 掛川悠氏による「自律的な品質改善のエンジン！ 大規模ミッションクリティカルシステムにおけるトラブル再発防止管理事例」がベストプラクティス賞、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 萱間真人氏による「オンラインのアジャイルチームにみる「ながら聞き」の効能と副作用」が奨励賞を受賞した。また、oVice上で参加者交流の場を設け、経験報告の発表内容に関する意見交換を行った。

ワークショップセッションは、JISA デジタル技術部会要求工学グループが企画し、メタバース上での要求獲得、メタバースそのものの要求獲得の検討のため、メタバースアプリとして Virbela を用いてワークショップを行った。

本イベントの各講演動画は1月13日（金）までアーカイブ配信を行う。

（辻村）